摂津市地域公共交通計画の作成に向けて(庁内検討案)

1. 摂津市地域公共交通計画策定の基本的な考え方

本市の課題 〇人口減少·少子高齢化への対応 〇自然災害対策 〇老朽化する公共施設の更新 ODXの推進 老年人口の見通し(全市) 総人口の見通し(全市) (人) =65~74歳人口 ■75歲以上人口 実績 - 7 75.85 85,342 87,183 85,899 83,973 81,662 79,145 76,855 74,361 71,409 34.9% 26,184 26,827 27,106 26,664 70,000 60,000 25,000 22,407 22,698 25% 50,000 20% 40,000 15,000 15% 30.000 10,000 10% 20,000 5% 10,000 0% 0 2027 2032 2037 2042 2042 2047 2052 2057(年)

本市の公共交通に関する現状と危機

〇路線バス利用者減少、慢性的な収支赤字

- R3. 3. 29~始発繰下げ・終発繰上げ等 (阪急バス(千里丘駅~柱本団地))
- R5.9.1~**運賃改定 220円→230円**(阪急バス・ 近鉄バス)

○循環バス・セッピィ号運行に係る継続財政支出

- 循環バス(補助**12,000千円**/年):1便平均**5.0**人 (定員44人)
- 公共施設巡回バス(セッピィ号)(委託費約 31,000千円/年):1便平均7.4人(定員19人)

〇二一ズとの乖離 (生活や移動の多様化)

出典:(摂津市)2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等報告書(平成31年)

● 市内の移動について、全体の61.7%が「不便」 又は「やや不便」と回答

※特に鳥飼東小学校区で80%を超える

- 「公共交通の本数が少ない」、「近くに駅がない」
- 「バス停までや買い物、通院等、比較的近距 離の移動手段がない」

〇慢性的な交通渋滞

● 大阪府内の渋滞地点(ワースト10入り)・・・一津屋交差点、鳥飼和道交差点

■高齢者や移動困難者、子育て世代の移動手段の喪失



大阪地域の法人タクシー運転者証の交付を受けた者の数



取り組みの方向性

- ・「摂津市地域公共交通協議会」を設置し、
 - 公共交通のマスタープランとなる「摂津市地域公共交通計画(基本計画)」を策定
- 本市の強みを活かす ≪市域全体は平坦な地形で、安威川以北地域は駅前再開発や道路整備等により、 利便性・快適性が向上し、更なる人やモノの集積・移動の活発化が期待≫
- 福祉や教育など分野横断的に持続可能な施策の具体化に取り組む

● 基幹交通の確保・維持

施策方針

利用促進、 モビリティマネジメントの推進





● 日常生活の移動を支える交通ネットワークの形成

施策方針

セッピィ号を含む近距離移動の再編





6摄津市

目指す将来像(30~50年後)



「誰もが気軽に出かけられる、フラットなまち」の実現

平坦な地形や都市基盤を活かした

「多様な交通手段の展開」と「お出かけ機会の創出」

2. 今後の進め方

- ◆令和5年度内に、「摂津市地域公共交通協議会」を設置
- ◆令和6年度末までに、地域公共交通計画の「基本計画」を策定
- ◆令和7年度以降、具体的な施策を定める「実施計画」を策定・実施【セッピィ号の再編案】

		14-4 1 4 /4 /
	協議内容(案)	
令和6年2月	第1回	・協議会規約、会議傍聴規程、事務局規程、財務規程の合意 ・今後の進め方 等
令和6年 4月~6月	第2回	・計画目標 ・施策方針・内容 等
7月~9月	第3回	・KPI(評価指標、目標値) ・施策の深度化・役割分担 等
10月~12月	第4回	・施策の推進体制 等
令和7年 1月~3月	第5回	・基本計画(案)について (パブコメ前)
	第6回	・パブコメ結果、取りまとめ結果の報告、 基本計画の策定
令和7年度~		・利用促進の取組等(できることから順次取り組む) ・ 実施計画の策定